

平成30年12月10日

各 位

会 社 名 サイバネットシステム株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 田中 邦明
(東証第一部 コード番号: 4312)
問い合わせ先 取締役 高橋 俊之
電 話 番 号 03-5297-3066

(訂正) 『AIを搭載した大腸内視鏡診断支援ソフトウェア
医薬品医療機器等法(薬機法)承認のお知らせ』の一部訂正について

平成30年12月10日に発表いたしました『AIを搭載した大腸内視鏡診断支援ソフトウェア医薬品医療機器等法(薬機法)承認のお知らせ』の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

— 記 —

訂正内容(訂正箇所は下線にて表示しております。)

[訂正前]

人工知能(AI)と高精細画像により高精度の識別を実現

今回承認を得た「EndoBRAIN」は、人工知能(AI)の分析に機械学習のひとつであるサポートベクターマシン※8と、オリンパスが開発した超拡大内視鏡(以下「Endocytto(エンドサイト)」)※9が撮影した高精細画像を利用しています。Endocyttoで撮影された大腸の内視鏡画像情報をコンピュータ処理し、画像から腫瘍および非腫瘍の可能性を数値として出力する事により、医師による病変の診断予測を補助するソフトウェアです。サポートベクターマシンには事前に腫瘍性ポリープか非腫瘍性ポリープかを識別した約6万の膨大な症例画像を教師データとして学習させ、この教師データをもとに検査中の画像の鑑別を行います。臨床性能試験では専門医に匹敵する正診率98%、感度98%の精度で「腫瘍性ポリープ」と「非腫瘍性ポリープ」を識別し、非専門医の正診率を上回る結果を残しています。

[訂正後]

人工知能(AI)と高精細画像により高精度の識別を実現

今回承認を得た「EndoBRAIN」は、人工知能(AI)の分析に機械学習のひとつであるサポートベクターマシン※8と、オリンパスが開発した超拡大内視鏡(以下「Endocytto(エンドサイト)」)※9が撮影した高精細画像を利用しています。Endocyttoで撮影された大腸の内視鏡画像情報をコンピュータ処理し、画像から腫瘍および非腫瘍の可能性を数値として出力する事により、医師による病変の診断予測を補助するソフトウェアです。サポートベクターマシンには事前に腫瘍性ポリープか非腫瘍性ポリープかを識別した約6万の膨大な症例画像を教師データとして学習させ、この教師データをもとに検査中の画像の鑑別を行います。臨床性能試験では専門医に匹敵する正診率98%、感度97%の精度で「腫瘍性ポリープ」と「非腫瘍性ポリープ」を識別し、非専門医の正診率を上回る結果を残しています。

以上